



学校だより「ゆう」

令和2年6月24日発行

敦賀市立敦賀西小学校

【所在地】〒914-0064 福井県敦賀市結城町 8-6 【HP】<http://edu.ton21.ne.jp/nishi/>
【連絡先】Tel0770-22-0538 FAX 0770-22-0530 【mail】nishi@edu.ton21.ne.jp

新型コロナウイルス感染症には、長期的な対応をしていかなければならない状況です。しかし、同時に子どもたちの「学び」も保障していかなければなりません。そこで、今後新型コロナウイルス感染症がこれ以上広がらないと仮定し、「新しい学校生活様式～西の子スタイル Ver 2～」に移行することにいたしました。今回は基本の考えをお伝えします。

「新しい学校生活様式」～西の子スタイル Ver2～【基本編】



「いつでもルール」はそのままとします。

「いつでもルール」の「自分がうつらない」「ほかの人にうつさない」というねらいを守りつつ、状況に応じて行動を選択するための考え方は変わらないということです。

「もうしなくてもいい」ではなく、場面・場面で考えさせて、学校外でも新型コロナウイルスから身を守る「生きる力」として実行できるように指導していきます。

「マスクをします」(飛沫感染を防ぐ)

- ・マスクをしなければいけない場面を指導します。例えば人と近い距離(密接)で話すときはマスクをします。また、換気が不十分だと思われる場面(密閉)、人が多く集まる場所でもマスクをします。
 - ・しかし、熱中症を防ぐために、マスクを外す判断もできるようにします。学習の場面では、必要に応じてマスクをつけたり、外したりできるように指導します。
- ◆自分がウイルスを飛ばさない、もらわないためにマスクをつける理念を再確認します。

「てあらいをします」「ひとのものにはさわりません」(接触感染を防ぐ)

- ・手洗いはどんな場面で必要でしょうか。学校では、特に登校前後、給食前後、清掃前後、トイレの前後の手洗いは今後も徹底します。何をしても「まずは手を洗って」を意識させます。
 - ・そして、自分がいろいろな場面でもものに触っていることを意識し、特に共通のものを触る前、触った後の手洗いができるように指導します。
 - ・また、従来から友達のを勝手に触らない指導をしていましたが、今後も自分と相手の命を守るために人のもののおやみには触らない指導は続きます。
 - ・同時に、係活動など人のものを触る必要があるときは、その活動前後に手洗いをを行うことを指導します。
- ◆自分がウイルスに触れない、運ばない理念のもと、「手洗い」は引き続き徹底していきます。

「かんきをします」「あいだをあけます」(互いに感染を防ぐ)

- ・密集しがちな場面では、常に新しい空気と入れ替える。学校では常に換気できない場合に備え、30分に10分の換気タイムを時計に示しています。子どもたちが言われなくても換気が意識できるように習慣化します。
 - ・順番を待つ、友達と活動する等の場面では、意識して1m程度の間をあける習慣を身につけます。間をあけるためのテープや足形がない場面でも自己判断できるように指導していきます。
- ◆自分にも相手にも配慮した距離を保つ、それが「あいだをあけます」の理念です。

子どもたちの様子を見ると、きちんとルールを守ってくれています。しかし、まだ、大人の指示によって行動している様子が見られます。学校では、自分で判断し、自分の力でこの未曾有の状況を生き抜く力をつけさせたいと思っています。「もう大丈夫だから」緩めるのではなく、「いかなる場面」でも「自分と他人を守る行動」ができ、「自己実現」できる西の子を育成するために努力してまいります。保護者の皆様のご理解とご支援をよろしくお願いいたします。